



平成 17 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 渡 辺 信  
 ( J A S D A Q ・ コード 7 8 9 5 )  
 問 合 せ 先  
 役職・氏名 取締役管理本部長 永 田 修  
 兼総務部長兼経理部長  
 電 話 0 4 8 - 5 4 0 - 2 6 2 4

固定資産減損会計の早期適用による特別損失の  
 発生及び中間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 17 年 7 月 29 日開催の取締役会において、「固定資産の減損に係る会計基準」を平成 17 年 12 月期中間決算より早期適用することを決議いたしました。これによる特別損失の発生と、最近の業績の動向を踏まえ、平成 17 年 2 月 18 日に公表しました中間業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損に係る会計基準の早期適用による特別損失の発生

当社は、固定資産の減損会計に従い事業用資産の見直しを行い、減損の必要性がある資産については、その損失を早期に処理し財務体質の健全化を図ることが、今後の健全経営に資するものと判断し、当該会計基準を早期適用することといたしました。

減損損失の概要は次の通りであります。

(単位：百万円)

	単 体	連 結
当社が所有する土地(奈良県五條市)	270	270
子会社 中央化学商事株式会社が所有する土地(埼玉県鳩山町)	-	2,360
子会社 重慶中央化学有限公司の生産設備(中国 重慶市)	-	700
子会社資産の減損損失に対する親会社側の損失引当	3,060	-
計	3,330	3,330

重慶中央化学有限公司の生産設備減損については、現状の事業計画から短期間での業績回復と累損解消が見込まれないため、帳簿価額を回収可能額まで減損いたします。

2. 中間業績予想の修正

(1)平成 17 年 12 月期連結中間業績予想数値の修正(平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 17 年 2 月 18 日発表)	41,000	650	100
今 回 修 正 予 想 ( B )	41,500	680	3,800
増 減 額 ( B - A )	500	30	3,900
増 減 率	1.2%	4.6%	-
前期(平成 16 年 6 月中間期)実績	38,554	217	32

## (2)平成 17 年 12 月期単独中間業績予想数値の修正（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 17 年 2 月 18 日発表)	35,000	500	200
今 回 修 正 予 想 ( B )	34,050	750	3,200
増 減 額 ( B - A )	950	250	3,400
増 減 率	2.7%	50.0%	-
前期(平成 16 年 6 月中間期)実績	33,007	228	124

## (3)中間業績予想修正の理由

(単独)

当社が使用する原材料の価格は、前期に続き高水準で推移しておりますが、昨年来実施している製品価格是正の浸透のほか、新製品の拡販、物流の効率化、外注政策の見直し等を更に推進して参りました。その結果、売上高は所期の目標を若干下回るものの、経常利益については所期の目標を大きく上回る見込みとなりました。なお、当期利益につきましては、前述の固定資産減損会計に伴う特別損失の計上等により、所期の目標を大きく下回る見込みとなりました。

(連結)

米国

旺盛な個人消費に支えられ、売上高は伸長率 30%超と順調に推移、原材料価格アップ分の製品転嫁は予定より遅れはしたものの、ほぼ完了いたしました。一方でガソリン価格の高騰などによる物流コストの増加などが発生致しました。この結果、売上高は所期の目標を達成するものの、経常利益・当期利益は所期の目標を下回る見込みとなりました。

中国

当期も伸長率 2 桁台という順調な売上増加が続き、操業率のアップ等により営業利益・経常利益は、前年比で大幅に改善いたしました。この結果、売上高・経常利益は所期の目標を達成するものの、当期利益は、前述の固定資産減損損失の計上等により、所期の目標を大きく下回る見込みとなりました。

連結合計

以上の状況から、連結売上高・連結経常利益ともに所期の目標を達成するものの、当期利益は、固定資産減損会計早期適用による減損損失の計上等により、目標を大きく下回る見込みとなりました。

また、通期業績予想につきましても、当中間期の固定資産減損損失の計上等により当期利益が当初予想に対し減少する見込みですが、詳細につきましては、今後の状況を見極めた上で、中間決算発表時に公表する予定であります。

なお、配当につきましては、安定的な配当を継続していくことを利益配分の基本方針としており、営業成績そのものは予想通りに推移していることから、平成 17 年 2 月 18 日公表の通り、中間配当は 10 円を予定しております。

以 上